

令和7年度 年間授業計画

教科：地理歴史 科目：日本史探究 単位数：3

対象学年：第3学年

使用教材	教科書：	詳説日本史（山川出版社）
	補助教材：	新詳日本史（浜島書店）

教科（地理歴史）の目標

【知識及び技能】	現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目（日本史探究）の目標

【知識及び技能】	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1 学 期	単元	日本文化のあけぼの	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。			
	知識及び技能	指導事項	知識・技能				
	旧石器文化から縄文文化への変化、弥生文化の成立などを基に、黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成、原始社会の特色を理解する	文化のはじまり、農耕社会の成立	旧石器文化・縄文文化の成立と変容を理解し、水稲耕作の開始・金属器の伝来が弥生文化の社会に与えた影響を理解し、出土品から得られる情報を収集して読み取る技能を身につけている。				
	思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現				
	自然環境と人間の生活との関わり、中国大陸や朝鮮半島などアジア及び太平洋地域との関係、狩猟採集社会から農耕社会への変化などに着目して、環境への適応と文化の形成について、多面的・多角的に考察し、表現する。黎明期の日本列島の変化に着目して、原始社会の特色について多面的・多角的に考察し、時代を遡る関わりを表現する。	教科書、資料集	黒曜石などの考古資料をもとに、集落・風習・食生活の変化などを踏まえて旧石器文化・縄文文化の社会について考察し、表現している。	○	○	○	8
	学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度				
縄文時代の開始と温暖化の関係を考え、あわせて今日における地球温暖化が人類に及ぼす影響にも視野を広げることによって社会生活に活かそうとする態度を育てる	復習	黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成について考察することを通じて、旧石器文化や縄文文化の特色を明らかにしようとしている。					
単元	古墳とヤマト政権	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
知識及び技能	指導事項	知識・技能					
国家の形成と古墳文化について、中国大陸・朝鮮半島との関係に着目して、小国の形成過程や古墳の特色を理解する。	古墳文化の展開、飛鳥の朝廷	国家の形成と古墳文化について、中国大陸・朝鮮半島との関係に着目し、小国の形成過程や古墳の特色を理解している。					
思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現					
中国の歴史書の記事、日本列島内外の金石文、小国の王墓の副葬品などをもとに、中国大陸・朝鮮半島との交渉がもつ意味や、小国の形成過程について考察し、表現する。仏教の受容や遣隋使の派遣などの大陸との交流について、資料をもとに考察した結果を、根拠を示して表現する。	教科書、資料集	中国の歴史書の記事、日本列島内外の金石文、小国の王墓の副葬品などをもとに、中国大陸・朝鮮半島との交渉がもつ意味や、小国の形成過程について多面的・多角的に考察し、表現している。	○	○	○	8	
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度					
中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して、小国の形成や推古朝の政治の展開についての課題を主体的に追究する態度を育てる	復習	中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して、小国の形成について考察することを通じ、古墳文化の展開とのつながりを見出そうとしている。					
定期考査（中間考査）/返却と解説				○	○		2
単元	律令国家の形成	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
知識及び技能	指導事項	知識・技能					
東アジアとの関係の変化などに着目して、律令体制の成立過程・整備、平安遷都前後の諸政策や平安初期の文化の変容を理解する。	律令国家への道、平城京の時代、律令国家の変容	隋・唐など中国王朝との関係と政治への影響に着目して、東アジア情勢の変容と政治の関係、律令体制の成立過程などを理解している。					
思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現					
奈良時代について、資料をもとに考察した結果を、根拠を示して表現する。	教科書、資料集	天智朝・天武朝・持統朝の政治動向に着目して、律令体制整備の過程について考察し、表現している。蝦夷や東アジア世界との関係の変化を踏まえて、中央における藤原北家の台頭、地方における土地支配体制の動向について考察し、根拠を示して表現している。	○	○	○	12	
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度					
隋・唐など中国王朝との関係と政治への影響などに着目して、律令体制の成立過程とのつながりを明らかにしようとする態度を育てる。	復習	隋・唐など中国王朝との関係と政治への影響などに着目して、律令体制の成立過程とのつながりを明らかにしようとしている。東アジアとの関係の変化や社会の変化を考察することを通じて、文化とのつながりを主体的に追究しようとしている。					
単元	貴族政治の展開	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
知識及び技能	指導事項	知識・技能					
大陸からの文物の定着を前提として、平安時代にはより日本の風土にあった文化が形成されたことや摂関政治を理解する。	摂関政治	藤原北家が権力を掌握していく過程を資料から読み取り、律令体制の変容の観点から摂関政治を理解している。					
思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現					
奈良時代の政治や平安初期の政治改革とも比較しながら、摂関政治の特色について考察し、根拠を示して表現する。	教科書、資料集	奈良時代の政治や平安初期の政治改革とも比較しながら、摂関政治の特色について考察し、根拠を示して表現している。	○	○	○	10	
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度					
唐の衰退と東アジア情勢の変化が日本社会に与えた影響を考察することを通じて、摂関政治期の社会の特色を明らかにしようとする態度を育てる。	復習	唐の衰退と東アジア情勢の変化が日本社会に与えた影響を考察することを通じて、摂関政治期の社会の特色を明らかにしようとしている。					
定期考査（期末考査）/返却と解説				○	○		2

単元の具体的な指導目標			指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
2 学 期	単元	貴族政治の展開	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	10
	知識及び技能	指導事項	知識・技能					
	地方の諸勢力の成長と影響などに着目して、律令制度の実態や地方における開発、治安の維持、荘園の発達などについて、その特色や変容を理解する。	地方政治の展開と武士	地方の諸勢力の成長と影響などに着目して、律令制度の実態や地方における開発、治安の維持、荘園の発達などについて、その特色や変容を理解している。					
	思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現					
	文獻資料を活用して、国司の支配の変容と公領の変質、荘園の発達を踏まえて地方支配の状況を考察し、根拠を示して表現する。	教科書、資料集	文獻資料を活用して、国司の支配の変容と公領の変質、荘園の発達を踏まえて地方支配の状況を考察し、根拠を示して表現している。					
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度						
平安時代の政治の在り方と文化との関係等を考察することを通じて、そのつながりを見出そうとする。	復習	国司の在り方や徴税方式の変化、武士の出現など、地方の豪族や武力をもった勢力の動向が政治・社会に与えた影響を明らかにしようとしている。						
単元	院政と武士の躍進	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	13	
知識及び技能	指導事項	知識・技能						
貴族政治や土地制度の変容などをもとに、諸資料から得られる情報を適切かつ効果的に調べまとめ、古代から中世の国家・社会の変容を理解する。平氏政権の台頭とその背景、宋との交易などについて、諸資料から様々な情報を読み取り、武士の政治進出について理解する。	院生の始まり、院政と平氏政権	貴族政治や土地制度の変容などをもとに、諸資料から得られる情報を適切かつ効果的に調べまとめ、古代から中世の国家・社会の変容を理解している。						
思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現						
武家政権の権力基盤となる武士の土地所有に至る変化を考察し、歴史における土地の支配や所有がもつ意味について多面的・多角的に考察し、表現する。	教科書、資料集	武士が台頭する契機や、この時期の土地制度の仕組みなどを考察し、古代から中世への時代の転換について根拠を示して表現している。						
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度						
古代との比較などを通して、中世では同じ時期に政治的な力をもつ勢力が複数存在していたことなど、中世の特色を探究しようとする。	復習	中世社会の特色について多面的・多角的に考察することを通じて、時代を超越する関心を表現し、追究しようとしている。						
定期考査（中間考査）/返却と解説					○	○		2
単元	武士政権の成立	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	13	
知識及び技能	指導事項	知識・技能						
公武関係の変化やユーラシアとの交流などに着目し、鎌倉時代について、諸資料から情報を収集して読み取る技能を身につけている。	鎌倉幕府の成立、モンゴル襲来と幕府の衰退	諸資料から情報を読み取り、源平争乱から鎌倉幕府の成立過程、幕府と朝廷の二元的支配構造、封建制度の成立などについて理解している。公武関係の変化やユーラシアとの交流などに着目し、鎌倉時代の宗教や文化の特徴について、諸資料から情報を収集して読み取る技能を身につけている。						
思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現						
幕府と朝廷の支配の特色や、武家と公家の関係の変化が土地の支配に及ぼした影響などを考察し、根拠を明確にして表現する。	教科書、資料集	幕府と朝廷の二元的支配構造の特色について、諸資料から得られた情報をもとに、根拠を明確にして表現している。鎌倉時代の生産の発達と商品の流通、東アジア情勢や国内での貨幣経済の発達とその意義について、多面的・多角的に考察し、表現している。						
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度						
鎌倉幕府の成立過程や封建制度の形成に関する課題を主体的に追究し、前の時代とのつながりを見出そうとする態度を育てる。鎌倉時代の宗教や文化にみられる平安時代からの特徴の継承や差異について、主体的に追究しようとする態度を育てる。	復習	鎌倉幕府の成立過程や封建制度の形成に関する課題を主体的に追究し、前の時代とのつながりを見出そうとしている。鎌倉時代の宗教や文化にみられる平安時代からの特徴の継承や差異について、主体的に追究しようとしている。						
単元	武家社会の成長	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	11	
知識及び技能	指導事項	知識・技能						
鎌倉幕府の成立、幕府の衰退と庶民の台頭、戦国大名の登場	鎌倉幕府滅亡後の政治権力の推移と武家の関係、日明貿易の展開と琉球王国の成立などについて、諸資料から情報を収集して理解している。							
思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現						
自治的な村の単位や一揆の組織が成立した要因と背景について、地理的な条件や流通など経済活動との関わりを多面的・多角的に考察し、表現する。	教科書、資料集	南北朝の動乱などにみられる地域の政治・経済の基盤をめぐる対立や、東アジアの国際情勢の変化とその影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。						
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度						
室町時代に成立した村の自治的な運営が現代社会における自治とどのように異なるかなど、自身との関わりにおいて課題を主体的に追究する態度を育てる。	復習	武家政権の変容や東アジアの国際情勢の変化などに着目し、諸資料を活用して前後の時代とのつながりを見出そうとしている。						
定期考査（期末考査）/返却と解説					○	○		2

令和7年度 年間授業計画 科目（日本史探究）

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
3 学 期	単元 其家社会の成長	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	知識及び技能	指導事項	知識・技能				
	経済の進展や各地の都市や村の発達、東アジアとの交流などに着目して、室町時代における多様な文化の形成や融合について理解する。	戦国大名の登場	守護大名と戦国大名の権力の相違点などについて読資料から情報を読み取り、戦国時代の大名による領国経営の特徴を理解している。				
	思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現				
	室町時代の文化の特徴と、当時の政治や経済の動向との関係を多面的・多角的に考察し、根拠を明らかにして表現する。	教科書、資料集	戦国大名による富国強兵策に着目して領国統治の特徴を読資料から考察し、堺や博多など都市の発展にみられる戦国時代の社会の多様性を表現している。	○	○	○	10
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度					
15世紀から16世紀にかけて争乱が多発した理由など、戦国時代を中心とする歴史の展開に関わる課題を主体的に追究する態度を育てる。	復習	15世紀から16世紀にかけて争乱が多発した理由など、戦国時代を中心とする歴史の展開に関わる課題を主体的に追究しようとしている。					
定期考査（期末考査）/返却と解説			○	○	○	2	
							合計
							105